

施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

R3年度(2021年度)評価

施策名	住み良い環境づくりの推進			総合計画コード	411
部名	市民環境部	主管課名	環境推進課	主管課部課コード	030300
関連部課名	都市建設部(みどり公園課)				

1. 施策概要

めざす目的成果	住みよい環境づくりを推進するため、自然環境が保全・再生され、生活環境が保全され、動植物の適正な保護と管理が行われている。				
施策概要	合併浄化槽整備促進 環境推進総務事務 環境情報収集及び公害監視 緑化推進 生産緑地管理 みどりのまちづくり基金積立 鳥獣・害虫管理 環境美化				
個別計画 関連計画	計画名称	第2次朝霞市環境基本計画	計画期間	H 24 年度 ~	R 3 年度
		みどりの基本計画		H 12 年度 ~	R 7 年度
				H 年度 ~	H 年度

2. 実施結果

R2年度の 施策の実施内容	市民団体との協働及び活動支援、環境審議会等を開催した。 第3次環境基本計画策定に着手した。 市民を交えた市内一斉清掃活動の実施や不法投棄対策を実施した。 狂犬病予防法に基づく畜犬登録事務や傷病鳥獣、野生鳥獣の対処法など相談及び対処等を実施した。 スズメバチの巣の駆除、ムクドリの追い払いを実施した。 大気・水質環境調査・道路の騒音・振動に係る調査及び水質汚濁防止法に関する事業所立入調査を実施した。 合併処理浄化槽の設置や適正な維持管理等の周知啓発を実施した。 緑化推進会議を開催した。 生産緑地地区の指定や解除、変更などの都市計画決定事務を行った。 みどりのまちづくり基金募金活動、PR活動を実施した。					
R2年度の 基本概念(コンセ プト)の実施内容	安全・安心な まち	大気・水質環境調査・道路の騒音・振動に係る調査及び水質汚濁防止法に関する事業所立入調査を実施した。合併処理浄化槽の設置や適正な維持管理等の周知啓発を実施した。				
	子育てが しやすいまち	市民を交えた市内一斉清掃活動の実施や不法投棄対策を実施した。				
	つながりのある 元気なまち	緑地管理ボランティアの支援等を実施した。				
	自然・環境に 恵まれたまち	生産緑地地区の指定や解除、変更などの都市計画決定事務を行った。 みどりのまちづくり基金募金活動、PR活動を実施した。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(2019年度)	R2年度(2020年度)
		36,991	38,861	40,037	39,601	38,333

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 (2019年度)	前期基本計画目標 R2年度(2020年度)
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績	実績	実績	実績	実績(見込)
① 典型7公害苦情受付件数 (説明) 環境基本法で騒音・振動・悪 臭などの典型7公害に対する 苦情件数	件	0	0	0	0	0
		14	15	13	7	9
② (説明)						

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input checked="" type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
	(説明) 典型7公害苦情受付件数については、目標の0件を達成できなかったが、ここ数年同程度で推移している。施策の実施内容に示した事業については、概ね順調に実施できた。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
	(説明) 住みよい環境づくりの推進に対してのニーズは継続的に高く、今後も同様に続くものと考えられる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 大気・水質環境調査の結果は安定した数値を示しているが、今後も継続して調査を実施し、環境の変化を監視していく必要がある。また、環境基準値を超えた場合は、原因考察や原因者が特定されている場合の改善の働きかけをし、市は、市民、事業者がそれぞれの役割において、環境に配慮し負荷を与えない暮らしを共通理解できるようにする必要がある。典型7公害の苦情等が発生しない環境が理想的だが、毎年一定数の苦情が寄せられている状況が続いており、その対応が課題と言える。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	[複数選択可] <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し				
	(説明) 自然環境や生活環境の状況を把握するため、引き続き環境調査等を行い、調査結果を基に環境の悪化や公害の発生を未然に防止するとともに、市民等への情報提供を行う。また、自然環境、生物多様性等についての情報提供に努めていく。				
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大 (説明) 自然環境・生活環境を保全していくためには、市民・事業者等の協力が欠かすことができない。市・市民・事業者がそれぞれの役割を理解し、環境に負荷を与えない行動を実践していく。				
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名		総コスト(事業費+人件費)		R3に向けた投入資源の方向性
			R1決算	R2決算見込	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	計(単位:千円)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載				
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【環境審議会】 環境調査の結果を、一般の人でもわかりやすく興味を引くように伝える工夫が必要。 【外部評価委員会】 環境や緑地等の保全・活用については、市民との協働による活動のほか、市民の意見を幅広く集約して推進してほしい。				
部長の意見	住みよい環境づくりの推進のためには、自然環境や生活環境等の状況を的確に把握し、市民にその状況をわかりやすく伝えていくことが重要である。今後も引き続き環境調査を行い、市、市民、事業者がそれぞれの役割で住みよい環境づくりの推進に関わっていくとともに、自然環境の保全・再生、生活環境の保全、動植物の適正な保護と管理が必要であることを共通理解としていけるよう、市民、事業者等に協力を求めていく。現在、策定中の第3次環境基本計画では、市民・事業者等の意見を伺いながら、新たな課題にも対応した、今後10年間の計画を策定する。				

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性

施策名	住み良い環境づくりの推進			総合計画コード	411
部名	市民環境部	主管課名	環境推進課	主管課部課コード	030300
関連部課名	都市建設部(みどり公園課)				

	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	R3に向けた 投入資源の方向性
		R1決算	R2決算見込			
	1 環境推進総務事務事業	-	-	4	4	現状のまま
	2 環境美化事業	-	-	4	4	現状のまま
	3 鳥獣・害虫管理事業	15,947	14,007	4	4	現状のまま
	4 環境情報収集及び公害監視事業	17,448	18,896	4	4	現状のまま
	5 合併処理浄化槽設置促進事業	6,206	5,430	4	4	現状のまま
	6 緑化推進事業	-	-	4	4	現状のまま
	7 生産緑地管理事業	-	-	4	4	現状のまま
	8 みどりのまちづくり基金積立事業	-	-	3	4	現状のまま
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
	計 (単位:千円)	39,601	38,333	-	-	-

施策を
構成する
事務事業の
次年度の
方向性

施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

R3年度(2021年度)評価

施策名	循環型社会の推進			総合計画コード	412
部名	市民環境部	主管課名	環境推進課	主管課部課コード	030300
関連部課名	市民環境部(資源リサイクル課)				

1. 施策概要

めざす目的成果	循環型社会を推進するため、環境に配慮した取組が行われている。				
施策概要	再生可能エネルギー普及推進 リサイクルプラザ管理事業 リサイクルプラザ運営 リサイクルショップ運営 リサイクル家具類販売 地球温暖化対策推進				
個別計画 関連計画	計画名称	第2次朝霞市環境基本計画	計画期間	H 24 年度 ~	R 3 年度
		第3次朝霞市地球温暖化対策実行計画		H 27 年度 ~	R 3 年度
		第5次朝霞市一般廃棄物処理基本計画		H 26 年度 ~	R 5 年度

2. 実施結果

R2年度の 施策の実施内容	リサイクルプラザ企画運営協議会と市の協働により、3R(リユース、リデュース、リサイクル)やごみの減量等の情報の発信をした。 会員登録された市民から不要な衣類や雑貨等を出品してもらい、販売して清算した。 市内の家庭で不要となった家具を引き取り、補修して毎月抽選により展示販売を実施した。 市本庁舎の一般駐車場内に設置した電気自動車充電器施設を利用者に有料で提供した。 アイドリングストップ啓発用のぼり旗の設置及びエコライフDAYチェックシートの配布回収を実施した。 公共施設の事業活動に伴い発生する温室効果ガスを集計し、国・県への報告、広報・HP等で公表した。 創エネ・省エネ設備の設置費補助金を交付した。					
R2年度の 基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	アイドリングストップ啓発用のぼり旗の設置及びエコライフDAYチェックシートの配布回収を実施した。				
	子育てがしやすいまち	リサイクルプラザ企画運営協議会と市の協働により、3Rやごみの減量等の情報の発信をした。				
	つながりのある元気なまち	会員登録された市民から不要な衣類や雑貨等を出品してもらい、販売して清算した。 家庭で不要となった家具を引き取り、補修して毎月抽選により展示販売を実施した。				
	自然・環境に恵まれたまち	住宅用創エネ・省エネ設備設置費補助事業を実施した。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(2019年度)	R2年度(2020年度)
		57,575	54,507	54,543	54,950	57,783

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 (2019年度)	前期基本計画目標 R2年度(2020年度)
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績	実績	実績	実績	実績(見込)
① リサイクルプラザが実施する 教室、講座、イベント開催 回数	回	48	48	48	48	48
		42	35	0	5	3
② (説明)						

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input checked="" type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点) (説明) リサイクルプラザ運営事業では、リサイクルプラザ企画運営協議会主催による講座を3回開催したほか、資料図書貸し出しの実施、展示コーナーの内容の充実など、ごみの減量や環境に関する情報提供を行った。 また、リサイクルショップ運営事業やリサイクル家具類販売事業では、目標数値を下回る指標もあるが、概ね達成できている。 再生可能エネルギー普及推進事業では、住宅用太陽光発電システムなど、創エネ・省エネ設備の設置に対する補助を20件行い、概ね目標を達成できている。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない (説明) 市民主体で構成する企画運営協議会と市の協働により、各種事業やごみ減量等に関する情報発信を行い、また、限りある資源の有効活用を図り、資源循環型社会を構築するとともに、ごみの減量化を進めるなど、市の考え方を示す意味で必要性は高い。 また、創エネ・省エネ設備の推進は、温室効果ガスの排出を削減するとともに、地球温暖化対策への意識向上につながるため必要性が高い。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) リサイクルプラザの施設の老朽化に伴い、設備等の定期的な検査を行い、不備があるときは適切に修理を行う。また、リサイクルプラザ企画運営協議会と市の協働による、3Rやごみの減量等に関する各種講座の開催については、実施方法を検討していくとともに、各種事業がより多くの市民の方に利用いただけるよう検討を行う。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	[複数選択可] <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し (説明) 循環型社会を推進するための啓発活動や情報発信を継続し、市民が行うエコ対策等に対する支援を継続する。					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大 (説明) 市民・事業者・行政がそれぞれの役割の中で、積極的に循環型社会の推進に取り組んでいく。引き続き現在のバランスを維持しながら3R運動やごみの減量化等の啓発活動を実施していく。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	R3に向けた 投入資源の方向性
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	計(単位:千円)			—	—	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載					
審議会等の第三者機関の評価(意見)	なし					
部長の意見	循環型社会を推進していくためには、市民、事業者、行政が一体となって取り組み、意識の醸成を図ることが重要である。行政は、率先して行動することにより、その先導的な役割を果たす必要がある。また、リサイクル情報の拠点であるリサイクルプラザについて、より効果的な運営を心掛けていく。					

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性

施策名	循環型社会の推進			総合計画コード	412
部名	市民環境部	主管課名	環境推進課	主管課部課コード	030300
関連部課名	市民環境部(資源リサイクル課)				

	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	R3に向けた 投入資源の方向性
		R1決算	R2決算見込			
	1 再生可能エネルギー普及推進事業	11,881	10,969	4	4	現状のまま
	2 地球温暖化対策推進事業	—	—	4	4	現状のまま
	3 リサイクルプラザ管理事業	16,004	16,953	4	4	現状のまま
	4 リサイクルプラザ運営事業	11,318	12,226	4	4	現状のまま
	5 リサイクルショップ運営事業	9,446	10,717	4	4	現状のまま
	6 リサイクル家具類販売事業	6,301	6,918	4	4	現状のまま
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
	計 (単位:千円)	54,950	57,783	—	—	—

施策を
構成する
事務事業の
次年度の
方向性

施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

R3年度(2021年度)評価

施策名	低炭素社会の推進			総合計画コード	413
部名	市民環境部	主管課名	環境推進課	主管課部課コード	030300
関連部課名					

1. 施策概要

めざす目的成果	低炭素社会を推進するため、温室効果ガス抑制のための取組が行われている。				
施策概要	地球温暖化対策推進				
個別計画 関連計画	計画名称	第2次朝霞市環境基本計画	計画期間	H 24 年度 ~	R 3 年度
		第3次朝霞市地球温暖化対策実行計画		H 27 年度 ~	R 3 年度
				H 年度 ~	H 年度

2. 実施結果

R2年度の 施策の実施内容	本庁舎の一般駐車場内に設置した電気自動車充電器施設を利用者に有料で使用させる。 アイドリングストップ啓発用のぼり旗の設置及びエコライフDAYチェックシートの配布回収。 公共施設の事業活動に伴い発生する温室効果ガスを集計し、国・県への報告、広報・HP等で公表。 職員向け研修。 創エネ・省エネ設備設置費補助金交付要綱により補助金を交付。					
R2年度の 基本概念(コンセ プト)の実施内容	安全・安心な まち	アイドリングストップ啓発用のぼり旗を設置した。				
	子育てが しやすいまち	エコライフDAYチェックシートの配布回収を実施した。				
	つながりのある 元気なまち	市本庁舎の一般駐車場内に設置した電気自動車充電器施設を利用者に有料で使用 していた。				
	自然・環境に 恵まれたまち	創エネ・省エネ設備設置費補助金の交付を実施した。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(2019年度)	R2年度(2020年度)
		4,113	4,910	4,774	5,285	7,383

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 (2019年度)	前期基本計画目標 R2年度(2020年度)
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績	実績	実績	実績	実績(見込)
① 市事務事業のCO2排出量 の削減率 (説明) 温室効果ガスの排出の抑制と安 定化に向けた実効性のある具 体的な取組みを実施する。	%	H25年度比-1	H25年度比-1	H25年度比-1	H25年度比-1	H25年度比-1
		-4.84	-4.43	-2.21	-1.71	-1.70
② (説明)						

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input checked="" type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
	(説明) 市事務事業のCO2排出量の削減率の目標は達成したが、引き続きの削減と意識醸成など数字に表れない部分の啓発活動を継続していく。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
	(説明) 引き続き低炭素社会の推進に対する、自治体の施策や取り組みが求められていくものと考えられる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) CO2の削減のためには、意識醸成等の啓発と共に省エネ設備などの導入が不可欠であるが、財政上の問題もあり、直ぐに実施することは難しい。そのため、施設の大規模改修などの際に、照明のLED化や省エネ設備の導入をいかに推進し、電気等のエネルギー使用料を削減していくかが課題となる。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	[複数選択可] <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し					
	(説明) 脱炭素社会の実現に向け、地球温暖化対策を推進していく。 市としても多様なエネルギー政策等を調査研究し、先導的な役割を引き続き担い、さらなる温室効果ガスの削減意識を定着させるべく、随時見直しを行う。					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大 (説明) 低炭素社会の推進のため、市は市民や事業者に対して、温室効果ガスの排出の規制や省エネ・省資源等に関する普及・啓発活動を積極的に取り組んでいただくとともに、率先して行動することにより市としての姿勢を示していく。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	R3に向けた 投入資源の方向性
	1 地球温暖化対策推進事業	R1決算	R2決算見込	4	4	現状のまま
	2					
	3					
	4					
	5					
計(単位:千円)		5,285	7,383	—	—	—
<input type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載						
審議会等の第三者機関の評価(意見)	(事業者アンケート) 事業活動に影響を与える気候変動の適応策として、台風などの自然災害等への対応を優先するべき。					
部長の意見	低炭素社会の推進は、市民・事業者・行政が一体となって取り組む必要がある。多様なエネルギー政策等を調査研究し、本市の特性にあった取組について引き続き検討をしていく必要がある。環境基本計画に包含する、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)において、効果的な計画を策定する。					

施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

R3年度(2021年度)評価

施策名	環境教育・環境学習の推進			総合計画コード	414
部名	市民環境部	主管課名	環境推進課	主管課部課コード	030300
関連部課名					

1. 施策概要

めざす目的成果	環境学習・環境教育を推進するため、市民などの環境意識が高揚し環境美化を推進するための取組が行われている。				
施策概要	環境推進総務事務 環境美化				
個別計画 関連計画	計画名称	第2次朝霞市環境基本計画	計画期間	H 24 年度 ~	R 3 年度
				H 年度 ~	R 年度
				H 年度 ~	H 年度

2. 実施結果

R2年度の 施策の実施内容	環境審議会を3回開催した。 あさか環境市民会議の運営支援を実施した。 環境施策実施年次報告「朝霞の環境」及び「朝霞市環境基本計画 実施計画」を発行した。 市民等を交えた市内一斉清掃活動である「きれいなまちづくり運動」を、秋に1回実施した。 環境美化推進員による市内美化活動を実施した。 環境美化活動等に貢献した9人を表彰した。 不法投棄監視パトロール等の不法投棄対策を実施した。					
R2年度の 基本概念(コンセ プト)の実施内容	安全・安心な まち	「路上喫煙・ポイ捨て防止」の路面シート等の啓発表示を実施した。				
	子育てが しやすいまち	「きれいなまちづくり運動」を実施した。				
	つながりのある 元気なまち	自治会等を通じて市民の協力を得ながら「きれいなまちづくり運動」を実施した。				
	自然・環境に 恵まれたまち	不法投棄監視パトロール等の不法投棄対策を実施した。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(2019年度)	R2年度(2020年度)
		36,083	34,701	35,315	36,256	37,714

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 (2019年度)	前期基本計画目標 R2年度(2020年度)
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績	実績	実績	実績	実績(見込)
① 環境美化ポスターの出展者 数 (説明) 例年募集している環境美化ポ スターの出展者数	人	120	120	125	130	130
		135	108	150	185	0
② (説明)						

3. 施策の分析

<p>達成度 (目標の達成状況はどうか)</p>	<p><input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input checked="" type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)</p> <p>(説明) コロナ禍の影響により環境美化ポスターの募集や路上喫煙・ポイ捨て防止キャンペーンを中止したため、一部で目標を下回ったが、その他に関しては例年通りの成果があった。</p>
<p>必要性 (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p><input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない</p> <p>(説明) 市民の環境問題に対する意識は高く、その要求も多岐にわたる傾向にあるものの、市民の環境学習・環境教育を推進するための取組の面では、現状と大きく変わらないものと考えられる。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>(説明) 市民、事業者などの環境に関する理解を深められるよう、環境施策実施年次報告書「朝霞の環境」の発行や「きれいなまちづくり運動」等の開催などを通じてモラル向上に関する取組を行っているが、効果が見えにくい。そのため、取組の効果を的確に把握し、環境学習・環境教育の推進に反映させていくことが課題となる。</p>

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

<p>施策の方向性</p>	<p>〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し</p> <p>(説明) 引き続き、市民などへの情報提供を積極的に行い、市民団体等への活動支援を継続する。また、市民等への意識啓発や関係機関との連携を図り、不法投棄監視パトロール等を継続し、環境美化の推進に取り組んでいく。</p>																																															
<p>行政と市民の役割分担</p>	<p><input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大</p> <p>(説明) 環境審議会や環境美化推進員、市民等からの意見や相談などを踏まえ、引き続き現在の取組を継続していく。</p>																																															
<p>施策を構成する事務事業の次年度の方向性</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事務事業名</th> <th colspan="2">総コスト(事業費+人件費)</th> <th rowspan="2">有効性 貢献度</th> <th rowspan="2">優先性 緊急性</th> <th rowspan="2">R3に向けた 投入資源の方向性</th> </tr> <tr> <th>R1決算</th> <th>R2決算見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 環境推進総務事務事業</td> <td>14,753</td> <td>18,709</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>2 環境美化事業</td> <td>21,503</td> <td>19,005</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計(単位:千円)</td> <td>36,256</td> <td>37,714</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	R3に向けた 投入資源の方向性	R1決算	R2決算見込	1 環境推進総務事務事業	14,753	18,709	4	4	現状のまま	2 環境美化事業	21,503	19,005	4	4	現状のまま	3						4						5						計(単位:千円)	36,256	37,714	—	—	—	<p><input type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載</p>		
事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性				R3に向けた 投入資源の方向性																																								
	R1決算	R2決算見込																																														
1 環境推進総務事務事業	14,753	18,709	4	4	現状のまま																																											
2 環境美化事業	21,503	19,005	4	4	現状のまま																																											
3																																																
4																																																
5																																																
計(単位:千円)	36,256	37,714	—	—	—																																											
<p>審議会等の第三者機関の評価(意見)</p>	<p>【環境審議会】 市民等への事業報告の内容について、わかりやすくする工夫が必要。 【市民満足度アンケート】 自然保護について、市民がもっと関心を持つような呼びかけをして欲しい。</p>																																															
<p>部長の意見</p>	<p>環境学習・環境教育を推進していくためには、市民などの環境意識が高揚するような取り組みの継続が不可欠である。そのためには、市民等へのわかりやすい情報提供を積極的に行い、市民団体等への活動支援を継続するとともに、その内容について検討をしていく必要がある。</p>																																															

施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

R3年度(2021年度)評価

施策名	ごみの減量・リサイクルの推進			総合計画コード	421
部名	市民環境部	主管課名	資源リサイクル課	主管課部課コード	030400
関連部課名					

1. 施策概要

めざす目的成果	ごみの減量及び再資源化の推進を図ることにより、循環型社会が構築されている。				
施策概要	ごみの減量・リサイクルの推進に関する情報提供や講座を実施し、市民等に対して、3Rに関する意識啓発を推進する。また、資源物の地域リサイクル活動推進団体に対し、補助金を交付することにより、更なるリサイクルを推進する。				
個別計画 関連計画	計画名称	第5次朝霞市一般廃棄物処理基本計画	計画期間	H 26 年度 ~	R 5 年度
		令和2年度朝霞市一般廃棄物処理実施計画		R 2 年度 ~	R 2 年度
		朝霞市分別収集計画		H 29 年度 ~	R 3 年度

2. 実施結果

R2年度の 施策の実施内容	<p>【啓発事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月に3R啓発、2月にごみ分別のキャンペーンを実施した。 ・市ホームページでごみの減量、再資源化の啓発に努めた。 <p>【地域リサイクル活動推進補助金交付】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源物回収団体へ補助金を交付した。 <p>【リサイクルプラザにおける啓発事業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス対策や制服リサイクル、環境書籍の貸し出しなどの事業を実施した。 ・市民から引き取った家具をリサイクルプラザのシルバー工房で補修し、展示販売を行った。 					
R2年度の 基本概念(コンセプト) の実施内容	安全・安心なまち	ごみの減量・再資源化の推進により、ごみの少ない生活環境に努めた。				
	子育てがしやすいまち	リサイクルショップ、制服リサイクルなどを通して、子育て環境の充実に努めた。				
	つながりのある元気なまち	地域リサイクル活動の補助を行うことにより、地域による3R推進に努めた。				
	自然・環境に恵まれたまち	3Rの推進を図ることにより、循環型社会の構築に努めた。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(2019年度)	R2年度(2020年度)
		38,834	39,079	43,785	68,355	61,994

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 (2019年度)	前期基本計画目標 R2年度(2020年度)
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績	実績	実績	実績	実績(見込)
① 市民1人当たりごみ排出量 (説明) 限られた資源を有効に活用し、環境への負荷を低減させるため、ごみの減量化を目指す	g/日	603	597	592	586	580
		584	574	567	572	594
② (説明)						

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input checked="" type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点) (説明) ・コロナ禍により、家庭ごみ排出量が増加し、指標の市民1人当たりのごみ排出量の目標は達成できなかった。 ・コロナ禍により、店頭啓発活動など市民と直接接触する事業は実施できなかったが、2月に分別キャンペーン月間を設け適正なごみの分別を推進した。 ・市民で構成された「リサイクルプラザ企画運営協議会」主催による講座を3回開催した。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない (説明) ・循環型社会を構築するためには、市民や事業者の取組みが重要である。ごみの減量とリサイクルを推進しようとする意識の向上に資する施策の必要性が増加していく。 ・コロナ禍により生活形態が変化し、家庭ごみが一時的に増加している。このため当面は、排出されるごみを適正に分別して再資源化を推進していく必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) ・コロナ禍により、家庭ごみが一時的に増加している。 ・単身者や外国人居住者の集合住宅で、ごみの分別が不十分な集積所が見られる。ごみ排出ルールの啓発や、市民・事業者・行政の三者による取組を推進し、3Rについての一層の啓発活動に努めていく必要がある。 ・リサイクルプラザを情報拠点として各種情報を発信する。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 内容の見直し (説明) ・分別の徹底による再資源化や、地域リサイクル活動補助金による集団回収の利用増を推進する。 ・リサイクルや食べきりなどの施策により、食品ロスを削減する。 ・コロナ禍により、ごみの排出量が増加していることから、当面は適正な分別により再資源化を推進する。状況が落ち着き次第、ごみの減量施策を推進していく。					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大 (説明) 施策目標の達成には、ごみの排出者の協力が不可欠なため、引き続き、市民・事業者・行政の三者が連携して、ごみの減量化・リサイクルに取り組む必要がある。行政は、ごみの減量化・再資源化施策の啓発活動に努めるものとし、現状の役割分担のバランスを維持していく。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	R3に向けた 投入資源の方向性
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	計(単位:千円)			—	—	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載					
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【廃棄物減量等推進審議会】 コロナ禍により、ごみ総排出量が増加しているため、他市の事例等を研究し新たな施策を実施していく必要がある。 3者協働により、ごみの減量を推進していく必要がある。					
部長の意見	市民・事業者にごみの分別が徹底されるように、引き続き周知に努めるとともに、ごみの減量化への啓発を効率的に実施すること。					

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性

施策名	ごみの減量・リサイクルの推進			総合計画コード	421
部名	市民環境部	主管課名	資源リサイクル課	主管課部課コード	030400
関連部課名					

	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	R3に向けた 投入資源の方向性
		R1決算	R2決算見込			
	1 ごみ減量・リサイクル推進啓発事業	4,806	4,840	4	4	現状のまま
	2 廃棄物減量等推進審議会運営事業	4,758	4,831	4	4	現状のまま
	3 リサイクルショップ運営事業	7,895	9,156	4	4	現状のまま
	4 リサイクルプラザ運営事業	5,112	6,020	4	4	現状のまま
	5 リサイクルプラザ管理事業	9,798	10,747	4	4	現状のまま
	6 リサイクル家具類販売事業	4,750	5,367	4	4	現状のまま
	7 ごみ減量・リサイクル推進補助事業	16,308	12,451	4	4	現状のまま
	8 塵芥処理事務事業	14,928	8,582	4	4	現状のまま
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
	計 (単位:千円)	68,355	61,994	—	—	—

施策を
構成する
事務事業の
次年度の
方向性

施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

R3年度(2021年度)評価

施策名	ごみ処理体制の充実			総合計画コード	422
部名	市民環境部	主管課名	資源リサイクル課	主管課部課コード	030400
関連部課名					

1. 施策概要

めざす目的成果	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な収集運搬体制の確立を図り、ごみ処理施設の適切な維持管理及び運転管理を行うとともに、計画的な最終処分場の確保に努めることにより、ごみ処理体制の充実が図られている。 				
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理施設の維持管理及び運転管理委託業者の指導管理、修繕工事の実施及び施設機器の点検状況などの把握を行う。 資源化を促進し、焼却灰や不燃残渣等の埋立量の削減を図る。 				
個別計画関連計画	計画名称	第5次朝霞市一般廃棄物処理基本計画	計画期間	H 26 年度 ~	R 5 年度
		令和2年度朝霞市一般廃棄物処理実施計画		R 2 年度 ~	R 2 年度
		朝霞市クリーンセンター施設維持管理計画		R 2 年度 ~	R 10 年度

2. 実施結果

R2年度の施策の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 家庭ごみの収集運搬業務を委託により実施した。 コロナ禍によるごみ量の増加に伴い、埋立処理量、資源化処理量が増加した。 焼却灰3,530t(埋立処理518t、資源化処理3,012t) 不燃残渣等2,772t(埋立処理130t、資源化処理2,642t) ごみ焼却処理施設の各種修繕・工事、その他各種設備機器の点検整備を実施した。 10月1日に朝霞和光資源循環組合を設立した。 					
R2年度の基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	ごみ集積所のごみを定期的に収集運搬することにより、ごみ集積所周辺の生活環境の保全に努めた。				
	子育てがしやすいまち					
	つながりのある元気なまち	資源の集団回収、ごみ集積所の管理の啓発などを通して、地域コミュニティの発展に努めた。				
	自然・環境に恵まれたまち	効率的な収集運搬体制、ごみ処理施設の適切な維持管理・運転管理を行うことで、市民の快適で衛生的な生活の確保に努めた。				
総コスト(事業費+人件費)	単位:千円(決算)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(2019年度)	R2年度(2020年度)
		1,319,713	1,286,599	1,267,200	1,516,332	1,562,268

指標名(説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(2019年度)	前期基本計画目標R2年度(2020年度)
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績	実績	実績	実績	実績(見込)
① 新ごみ処理施設建設工事 (説明) 新たなごみ処理施設を建設する。		検討	検討	検討	協議会を設置し検討開始	一部事務組合を設置し検討
		検討	延期決定	和光市とのごみ処理広域化協議の開始が決定	協議会を設置し検討開始	ごみ処理広域化基本構想を策定。一部事務組合を設立。
② (説明)						

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input checked="" type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
(説明)	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理施設の各種修繕・工事のほか、適切な維持管理により、支障なくごみを処理することができた。 効率的な収集体制を維持し、家庭ごみの収集をすることができた。 新型コロナウイルス感染拡大の影響でごみ処理量が増加したため、焼却灰、不燃物等の埋立量も増えたが、資源化処理量の割合は維持することができた。 10月1日に、「朝霞和光資源循環組合」を設立し、ごみ処理広域化について協議を進めることができた。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
(説明)	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な収集運搬体制を維持しつつ、焼却灰などの再資源化を更に推進する必要がある。 ごみ処理の新施設建設に向けて、継続して検討を行う必要がある。 可燃ごみと粗大ごみの処理施設は新施設稼働開始までの間、現施設を適切に維持管理する必要がある。 資源ごみ処理施設については当面の間広域化の対象外となっているため、計画的な工事等により、令和10年度以降も安定的に稼働できるようする必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) <ul style="list-style-type: none"> 集積所へ不適切に排出された粗大ごみ、市で処理できないごみや医療系廃棄物などは、警告シールを貼付し排出者へ警告しているが、そのまま放置されると集積所周辺の生活環境が悪化する。集積所パトロールや啓発により、適正な排出を促す必要がある。 ごみ処理施設の状況を把握し、計画的な点検、修繕や工事等を実施し、適切に維持管理する必要がある。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	[複数選択可] <input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し					
(説明)	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な収集運搬体制を維持し、ごみ処理施設の安全かつ適切な運転と維持管理を行うとともに、最終処分場の確保に努めるなど、ごみ処理体制の充実を図る。 施設設備の計画的な点検、修繕や工事等を実施し、現ごみ処理施設の有効活用に努める。 					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大					
(説明)	<ul style="list-style-type: none"> 行政は市民へごみの適正排出について啓発し、市民は適正排出に努める。 行政は事業者へごみの適正排出や再資源化について啓発し、事業者は適正排出に努める。 					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	R3に向けた 投入資源の方向性
		R1決算	R2決算見込			
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	計(単位:千円)			—	—	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載					
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【廃棄物減量等推進審議会】 今後、生活様式等が変化すると思われるため、それに対応した施策を検討していく必要がある。 朝霞市、和光市両市市民の意見を踏まえて、広域化処理の協議を進めてほしい。 災害を盛り込んだ形で新ごみ焼却処理施設の計画を進めてほしい。					
部長の意見	和光市とのごみ処理広域化については、新施設の建設計画を積極的に推進し、令和10年度を目途として供用開始をするための協議を進めること。 新ごみ処理施設が稼働するまでの間、安定的なごみ処理を実施するとともに、焼却灰などの再資源化を進め、環境への負荷軽減を図ること。					

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性

施策名	ごみ処理体制の充実			総合計画コード	422
部名	市民環境部	主管課名	資源リサイクル課	主管課部課コード	030400
関連部課名					

	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	R3に向けた 投入資源の方向性
		R1決算	R2決算見込			
	1 クリーンセンター維持管理事業	106,749	107,130	4	4	現状のまま
	2 可燃ごみ処理事業	722,089	729,926	4	4	現状のまま
	3 資源ごみ処理事業	377,182	402,843	4	4	現状のまま
	4 清掃総務事務事業	5,163	7,796	4	4	現状のまま
	5 粗大ごみ処理事業	111,716	108,068	4	4	現状のまま
	6 朝霞地区一部事務組合負担事業(し尿処理)	36,627	34,764	4	4	現状のまま
	7 不燃ごみ処理事業	136,251	99,103	4	4	現状のまま
	8 塵芥処理事務事業	14,928	10,909	4	4	現状のまま
	9 ごみ処理広域化事業	5,627	61,729	4	4	拡大
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
施策を 構成する 事務事業の 次年度の 方向性	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
		計 (単位:千円)	1,516,332	1,562,268	—	—

施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

R3年度(2021年度)評価

施策名	コミュニティ活動の推進			総合計画コード	431
部名	市民環境部	主管課名	地域づくり支援課	主管課部課コード	020400
関連部課名					

1. 施策概要

めざす目的成果	市民が相互に連携し、主体的にまちづくりに参加して、地域住民のコミュニティ活動が活発に行われている。				
施策概要	自治会・町内会へ運営費の補助を行う。 自治会町内会へ集会所建設費又は修繕費を補助する。 自治会連合会事務局の運営を行う。				
個別計画 関連計画	計画名称		計画期間	H 年度 ~	H 年度
				H 年度 ~	H 年度
				H 年度 ~	H 年度

2. 実施結果

R2年度の 施策の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等運営費補助金の交付:71自治会・町内会及び自治会連合会に12,652千円を交付 自治会等集会所建設事業補助金の交付:2自治会・町内会に1,215千円を交付(修繕) 自治会連合会事務局の運営 					
R2年度の 基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	自治会・町内会による防犯灯の維持管理やパトロールが実施された。				
	子育てがしやすいまち	自治会・町内会による小学校のアルコール消毒支援などが実施された。				
	つながりのある元気なまち	地域コミュニティの要である自治会・町内会に対し、運営費や集会所建設事業補助金を交付するとともに、自治会連合会事務局を運営し、自治会・町内会の抱える課題についての取り組みを実施した。				
	自然・環境に恵まれたまち	自治会・町内会による環境美化活動が実施された。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(2019年度)	R2年度(2020年度)
		71,838	100,604	82,212	82,467	75,916

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 (2019年度)	前期基本計画目標 R2年度(2020年度)
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績	実績	実績	実績	実績(見込)
① 自治会・町内会加入率 (説明) 市内の世帯数に対する各自治会・町内会への加入率	%	47.4	47.6	47.8	48.0	48.1
② (説明)		44.5	43.7	42.7	41.4	40.3

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input checked="" type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
	(説明) 地域コミュニティの希薄化、市民の価値観の多様化、自治会・町内会が抱える課題などの様々な要因により、自治会加入率は年々減少しており、自治会連合会や開発事業者等との連携を通じて加入率向上に向けた取り組みを実施していく必要がある。 スマートハイムシティ朝霞の開発にあたり、開発事業者と協議を重ね、新たに自治会が設立された。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
	(説明) 人口の流出による地域意識の希薄化や市民の価値観の多様化などにより、地域での人と人との結びつきが弱くなっている。しかしながら、東日本大震災を契機に、自治会・町内会の果たす役割が防災や防犯など様々な面で再認識されたことから、自治会・町内会に加入し、住民相互の理解を深めておくことが大切である。また、新型コロナウイルス感染症により、改めて人や地域とのつながりの重要性が目され、市民が孤立することがないように自治会・町内会と連携して取り組んでいく必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 地域コミュニティの希薄化や市民の価値観の多様化、自治会・町内会が抱える課題など、様々な要因により自治会加入率の低下が進んでいる。朝霞市自治会連合会でもその課題解決に向けて検討する場を設け、その動向を注視するとともに、関係機関との連携を密にし、自治会・町内会の負担軽減や活動しやすい環境作りを進めることが重要である。 また、新型コロナウイルス感染症に関する国や県から発信される情報を適切に提供するなど、コロナ禍においても地域活動が継続されるよう市として取り組む必要がある。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	[複数選択可] <input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し					
	(説明) 地域コミュニティの要である自治会・町内会に対し、効果的な助成を行うとともに、手続きの簡素化や行政との関り方などについて、自治会・町内会の負担軽減などに向けて検討・改善することが課題である。 また、コロナ禍でも安心して地域活動が実施できるよう市として支援していく必要がある。					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大 (説明) 地域課題・行政課題の解決につながるよう、自治会・町内会それぞれの自主性を尊重しながら行政として支援に努める。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名		総コスト(事業費+人件費)		有効性	優先性
			R1決算	R2決算見込	貢献度	緊急性
	1 自治振興事業		30,744	33,539	5	5
	2 コミュニティ推進事業		51,723	42,377	5	5
	3					
	4					
5						
計(単位:千円)		82,467	75,916	—	—	R3に向けた投入資源の方向性
<input type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載						
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【外部評価委員会】 ・地域の実態把握、自治会の問題が行政に取り上げられるというシステムが機能していないのではないか。時代の変化を踏まえ、インターネットベースの地域コミュニティについての検討を始めてほしい。					
部長の意見	自治会・町内会の加入率の低下が課題となっている中、自治会連合会等と連携し、加入率向上に取り組んでいるが、歯止めがかかっていない状況にある。転出入の手続きや集合住宅の開発の際に、さらに丁寧に自治会への加入や設立を呼びかけるとともに、既存の自治会に対する支援を継続し、役員の負担軽減などを図っていく。					

施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

R3年度(2021年度)評価

施策名	活動施設の充実			総合計画コード	432
部名	市民環境部	主管課名	地域づくり支援課	主管課部課コード	020400
関連部課名	市民環境部(コミュニティセンター)				

1. 施策概要

めざす目的成果	地域での様々な活動ができる市民センター、コミュニティセンター、市民会館等が整備され、市民は快適に利用することができ、コミュニティ活動・文化活動が活発に行われている。				
施策概要	コミュニティ活動の拠点である市民センター・コミュニティセンター、文化活動の拠点である市民会館等を適切に管理運営する。				
個別計画 関連計画	計画名称	朝霞市公共施設等総合管理計画	計画期間	H 28 年度 ~	H 47 年度
		朝霞市公共施設等マネジメント実施計画		R 3 年度 ~	R 47 年度
				H 年度 ~	H 年度

2. 実施結果

R2年度の 施策の実施内容	市民センター8館の管理運営を指定管理者制度により行った。 溝沼市民センター及び膝折市民センターの空調設備工事を行った。 コミュニティセンター舞台機構照明保守、音響保守、ホール座席保守のほか、必要な修繕を随時行った。 市民会館の管理運営を指定管理者制度により行った。					
R2年度の 基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	老朽化する施設を適切に維持管理するため、必要な修繕や改修を行った。				
	子育てがしやすいまち	ベビーベッドの設置など、子ども連れの利用者に配慮した維持管理を行った。				
	つながりのある元気なまち	地域の活動拠点となる施設として、適切に維持管理するとともに、様々な事業を展開した。				
	自然・環境に恵まれたまち	施設の修繕や改修に当たり、環境性能に優れた機器を導入するなど、自然環境の保全に努めた。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度 305,081	H29年度 622,143	H30年度 252,938	R1年度(2019年度) 253,698	R2年度(2020年度) 268,628

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 (2019年度)	前期基本計画目標 R2年度(2020年度)
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績	実績	実績	実績	実績(見込)
① 市民センター利用率 (説明) 利用可能枠に対する利用率	%	59.3	59.6	60.0	60.3	60.6
		61.8	62.0	62.7	59.6	53.9
② (説明)						

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input checked="" type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
施策を進める上での問題点・課題	(説明) コロナ禍でも安心して利用できるよう感染症対策を徹底するとともに、収束後に従来の利用率に戻り、さらに向上させることができるよう取組む必要がある。 市民会館・市民センターは施設の老朽化のため大規模改修が必要な時期であるが、高額な改修費用が見込まれることから、朝霞市公共施設等マネジメント実施計画に基づき、実施内容や時期等を適切に見定める必要がある。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	[複数選択可] <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大 (説明) 自治会、町内会の要望、利用者アンケート及び指定管理者の意見などの情報収集を行い、市民ニーズの把握に積極的に努め、施設の管理運営に反映せざる。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	R3に向けた 投入資源の方向性
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	計(単位:千円)			—	—	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載					
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【外部評価委員会】 ・公民館等の空きスペースを自習スペースとして利用促進してほしい。 ・公民館、図書館、博物館等の連携について、どのような成果が出るか期待している。					
部長の意見	感染症対策を徹底しながら、感染状況を見極め、利用者が安心して利用できるよう適切に施設を管理運営していく。					

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性

施策名	活動施設の充実			総合計画コード	432
部名	市民環境部	主管課名	地域づくり支援課	主管課部課コード	020400
関連部課名	市民環境部(コミュニティセンター)				

事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	R3に向けた 投入資源の方向性
	R1決算	R2決算見込			
1 コミュニティセンター運営事業	7,846	8,153	3	3	現状のまま
2 コミュニティセンター管理事業	5,874	6,652	3	3	現状のまま
3 市民会館管理運営事業	96,880	97,378	3	3	現状のまま
4 市民センター管理運営事業	143,098	143,976	3	3	現状のまま
5 市民センター施設改修事業	—	12,469	3	4	R2で休止・廃止・終了
6 自治振興事業	—	—	5	5	拡大
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
計 (単位:千円)	253,698	268,628	—	—	—

施策を
構成する
事務事業の
次年度の
方向性

施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

R3年度(2021年度)評価

施策名	市民活動への支援			総合計画コード	441
部名	市民環境部	主管課名	地域づくり支援課	主管課部課コード	020400
関連部課名					

1. 施策概要

めざす目的成果	市民活動に関する情報の収集や発信、活動の相談や団体同士の交流促進などの場として、市民活動支援ステーション・シニア活動センターが活用され、豊かで活力ある地域社会の実現に向けて、市民活動が活性化している。				
施策概要	市民活動の啓発や参加促進等を目的とした事業を実施するとともに、市民活動団体への支援として、NPO法人の設立や事業実施の経費に補助金を交付する。				
個別計画 関連計画	計画名称	朝霞市市民協働指針	計画期間	H 20 年度 ~	H 年度 年度
				H 年度 ~	H 年度 年度
				H 年度 ~	H 年度 年度

2. 実施結果

R2年度の 施策の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人等の市民活動団体の情報収集、提供、相談業務 ・市民活動団体支援補助金交付(事業補助11団体) ・市民活動の団体情報等を取りまとめたガイドブック発行 ・市民活動団体の活動内容を広報あさかに掲載(隔月) ・市民活動パネル展 ・市民活動団体のイベント等の情報をメールマガジン発行(毎月) ・NPO税務会計相談会 ・SNS基礎活用相談会 ・はじめてのZOOM活用相談会 					
R2年度の 基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	まちづくりを目的とした市民活動団体を広報で紹介したほか、関係機関の地域支援情報をメールマガジンで配信するなど、まちづくりに関する情報提供を行った。				
	子育てがしやすいまち	子どもの健全育成を目的とした市民活動団体の事業に補助を行ったほか、活動団体を広報で紹介するなど、子育てに支援に関する取組を行った。				
	つながりのある元気なまち	NPOや市民活動団体の事業に要する経費に補助を行うなど、市民活動団体への支援や協働の推進に努めた。				
	自然・環境に恵まれたまち	環境保全を図ることを目的とした市民活動団体の事業に補助を行なったほか、活動団体の情報をメルマガで配信するなど、環境支援に関する取組を行った。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(2019年度)	R2年度(2020年度)
		15,672	14,130	14,482	14,395	14,967

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 (2019年度)	前期基本計画目標 R2年度(2020年度)
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績	実績	実績	実績	実績(見込)
① NPO法人数 (説明) 主たる事業所が市内にある NPO法人数	法人	42	44	46	48	50
		41	47	48	47	48
② (説明)						

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input checked="" type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点) (説明) 指標のNPO法人数について、目標・計画数まで至らず達成ができなかった。しかし、活動自粛等によるコロナ禍での運営支援として、ビデオアプリなどオンラインに関する相談会を開催し、団体ニーズに対応した支援を提供できた。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない (説明) 地域の課題解決に向けて、福祉や子どもの健全育成など様々な分野の市民活動が広がっており、市民活動団体の役割・支援は今後も増加していくものと考えられる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 新型コロナウイルス感染症に係る団体への影響は今後も課題であり、団体支援について、ニーズを捉えながら行っていく必要がある。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し (説明) 地域で継続した活動を担っていただけるよう、支援する側のスキル向上を図るとともに、ニーズを捉えた団体支援、市民活動の周知・啓発を行っていく。また、市民活動団体支援補助金について、引き続き、実績を考慮しながら、対象団体数等の見直しを行っていく。					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input checked="" type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大 (説明) 行政は市民活動団体が活動しやすいように、財政的な支援や団体の情報収集・提供等を行い、地域課題の解決に向けて、今後も市民活動が広がる支援を行っていく。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	R3に向けた 投入資源の方向性
	1 市民活動支援ステーション運営事業	R1 決算	R2 決算見込	4	4	現状のまま
	2					
	3					
	4					
	5					
	計(単位:千円)	14,395	14,967	—	—	—
	<input type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載					
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【外部評価委員会】 ・NPOとの連携の強化を図ってほしい。					
部長の意見	市民活動が活性化するまちを目指し、引き続き、市民活動への支援を行い、地域の課題解決や魅力ある地域づくりへとつなげていく。					

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性

施策名	市民活動への支援			総合計画コード	441
部名	市民環境部	主管課名	地域づくり支援課	主管課部課コード	020400
関連部課名					

	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	R3に向けた 投入資源の方向性
		R1決算	R2決算見込			
施策を 構成する 事務事業の 次年度の 方向性	1 市民活動支援ステーション運営事業	14,395	14,967	4	3	現状のまま
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
	計 (単位:千円)	14,395	14,967	—	—	—

施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

R3年度(2021年度)評価

施策名	市民活動環境の充実			総合計画コード	442
部名	市民環境部	主管課名	地域づくり支援課	主管課部課コード	020400
関連部課名					

1. 施策概要

めざす目的成果	市民活動団体や市民が、市民活動支援ステーション・シニア活動センターを利用しやすいように、施設、備品が適切に維持管理されている。						
施策概要	市民活動支援ステーション・シニア活動センターの適切な運営と維持管理を行う。						
個別計画 関連計画	計画名称	計画期間	H	年度	~	H	年度
			H	年度	~	H	年度
			H	年度	~	H	年度

2. 実施結果

R2年度の 施策の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 警備業務委託(通年) 自動ドア保守委託(年4回) 消防設備保守点検委託(年2回) 空気調和設備保守点検委託(年3回清掃含む) 清掃業務委託(年6回) 電算機、複写機、印刷機、電話機借上 市民活動支援ステーション借上 施設維持管理 					
R2年度の 基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	日々の点検等を実施し、安全で快適に利用できるよう、適切な維持管理に努めた。				
	子育てがしやすいまち	子育て関連のチラシやリーフレットをまとめて配架し、見やすいようにすることで、親子連れの方も快適に利用できる施設となるように努めた。				
	つながりのある元気なまち	施設内の団体情報掲示など、限られたスペースの有効活用を行い、市民活動の情報発信等を行った。				
	自然・環境に恵まれたまち	再生紙の利用促進や、蛍光灯の間引きなど、環境保全及び節電に努めた。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(2019年度)	R2年度(2020年度)
		4,809	4,490	4,482	4,424	4,484

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 (2019年度)	前期基本計画目標 R2年度(2020年度)
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績	実績	実績	実績	実績(見込)
① 施設の利用団体数 (説明) 印刷機やラックなどの設備、備品利用や、団体の活動相談などの施設利用団体数	団体	446	452	458	464	470
		660	525	515	505	280
② (説明)						

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input checked="" type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点) (説明) 日々の施設点検の実施など、適切な維持管理を行ったが、新型コロナウイルス感染症による施設の臨時休所等のため、目標・計画は達成できなかった。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない (説明) 市民活動団体の自立した運営や活動への支援、また、新たな担い手の発掘や育成など、市民活動に関する事業や情報の発信拠点として、市民活動団体が相談や打合せ等を行える場の提供が、今後も必要である。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 団体の活動拠点として、施設スペースが狭小であること。また、施設設備の老朽化に伴う定期的な点検や、計画的な備品等の入れ替えを行っていく必要がある。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	[複数選択可] <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し (説明) 市民や市民活動団体が利用しやすいように、施設内の設備、備品などの適切な維持管理等に努め、市民活動の一層の活性化を図る。					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大 (説明) 市民、市民活動団体の意見などの情報収集を行い、ニーズの把握に努め、施設の管理運営に反映させる。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	R3に向けた 投入資源の方向性
	1 市民活動支援ステーション管理事業	4,424	4,484	3	3	現状のまま
	2 市民活動支援ステーション運営事業	-	-	4	4	現状のまま
	3					
	4					
	5					
	計(単位:千円)	4,424	4,484	—	—	—
	<input type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載					
審議会等の第三者機関の評価(意見)	関連する第三者機関なし					
部長の意見	市民活動団体の運営や活動支援のため、必要な備品を設置するとともに、利用しやすい施設の維持管理等を行い、市民活動の拠点施設として環境整備を進めていく。					

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性

施策名	市民活動環境の充実			総合計画コード	442
部名	市民環境部	主管課名	地域づくり支援課	主管課部課コード	20400
関連部課名					

	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	R3に向けた 投入資源の方向性
		R1決算	R2決算見込			
施策を 構成する 事務事業の 次年度の 方向性	1 市民活動支援ステーション管理事業	4,424	4,484	4	3	現状のまま
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
		計 (単位:千円)	4,424	4,484	—	—